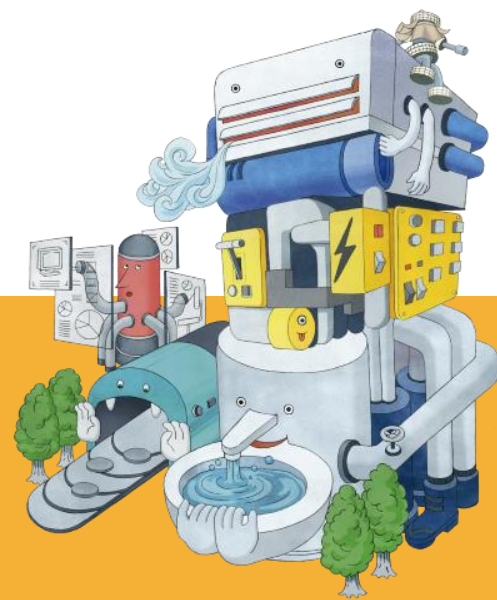


# 中期経営計画進捗状況

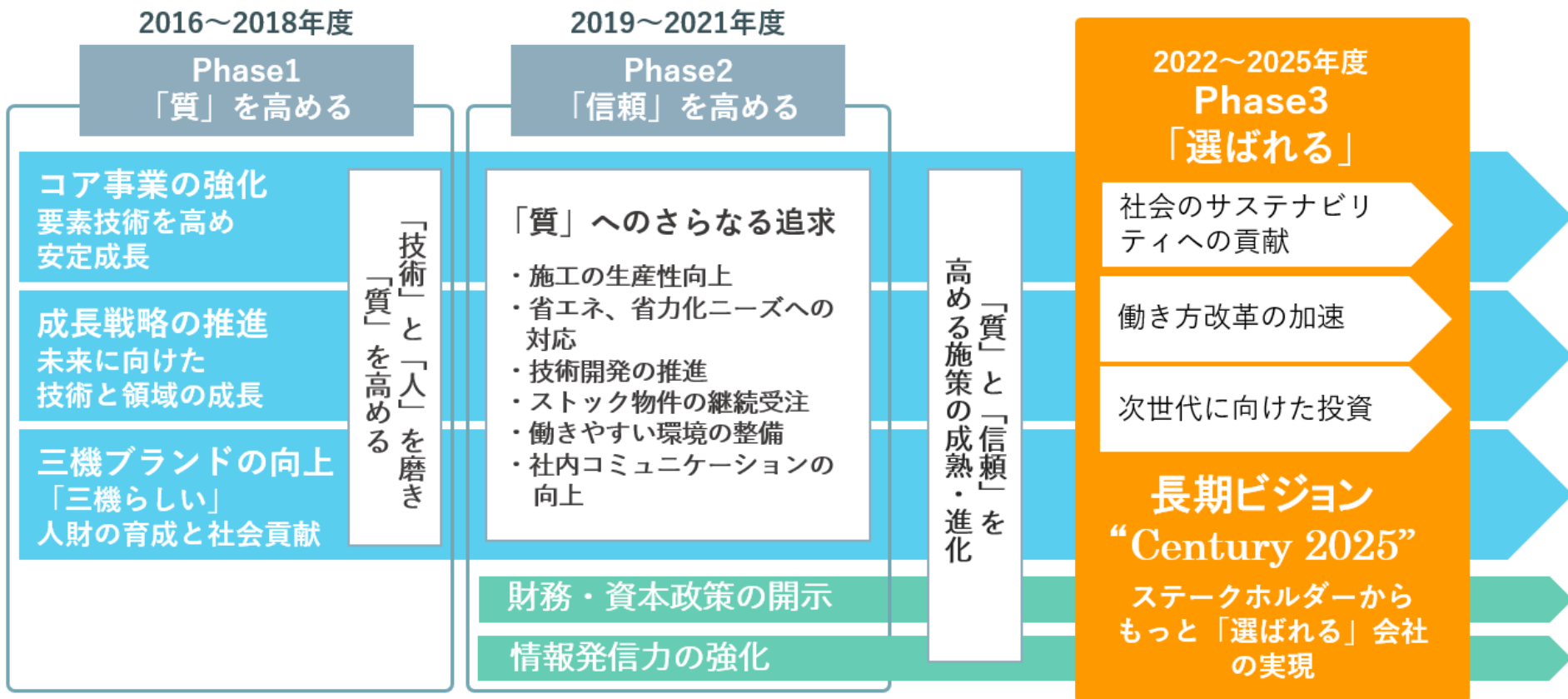
“Century 2025” Phase3 2023年度第2四半期

2023年11月10日

カイトキを  
カタチに。



Phase3は、長期ビジョン“Century 2025”の総仕上げとなる中期経営計画として、これまで取り組んできた「質」と「信頼」を高める施策をさらに成熟・進化させるとともに、新たな3つの施策「社会のサステナビリティへの貢献」「働き方改革の加速」「次世代に向けた投資」によって「選ばれる」会社を実現します。



【注記】 Phase2の施策にあった「ESG方針」は、Phase3で「サステナビリティ方針」に進化しました

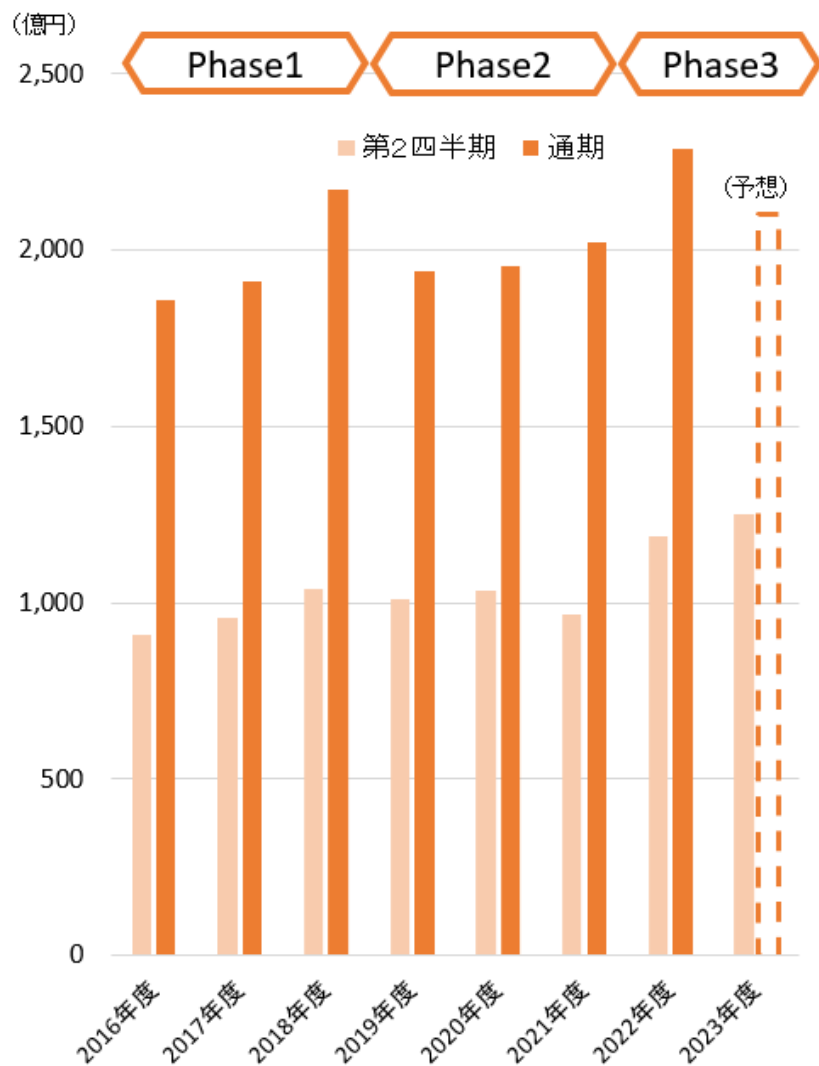
	Phase3目標 最終2025年度	2022年度 実績	2023年度 業績予想	2023年度 第2四半期実績
売上高	2,200億円	1,908億円	2,150億円	894億円
売上総利益 (率)	360億円 (16.5%)	270億円 (14.2%)	325億円 (15.1%)	119億円 (13.4%)
経常利益 (率)	120億円 (5.5%)	62億円 (3.3%)	100億円 (4.7%)	18億円 (2.1%)

	Phase3目標 2022~2025年度	2022年度 実績	2023年度 第2四半期実績
経常利益率	5.0%以上	3.3%	2.1%
配当方針	配当性向 50%以上 1株当たり年間配当金 70円以上	配当性向 87.4% 1株当たり年間配当金 75円	中間配当時 配当性向 通期で発表 1株あたり配当金35円
自己株式取得	500万株程度※	150万株 (累計150万株)	150万株取得を計画★ (累計300万株)
ROE	8.0%以上	5.1%	通期で発表
成長投資	200億円程度※	32億円 (累計32億円)	通期で発表

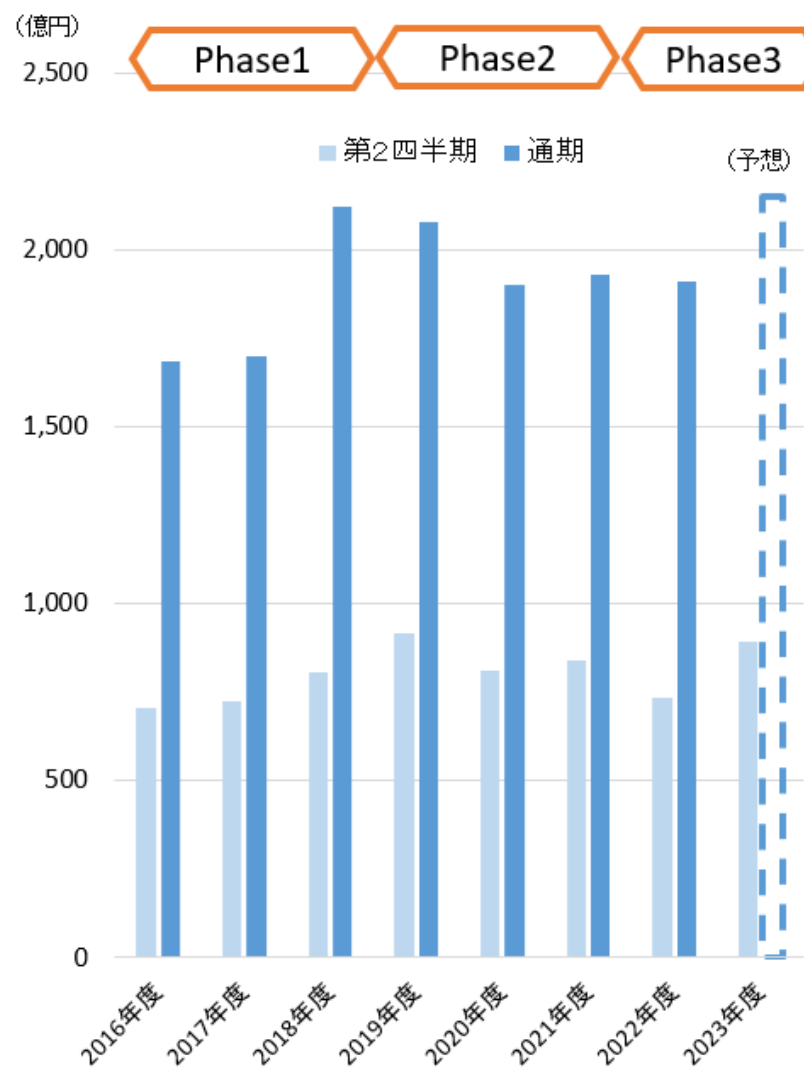
※計画期間累計

★9月30日までに48千株取得済

## 連結受注高推移

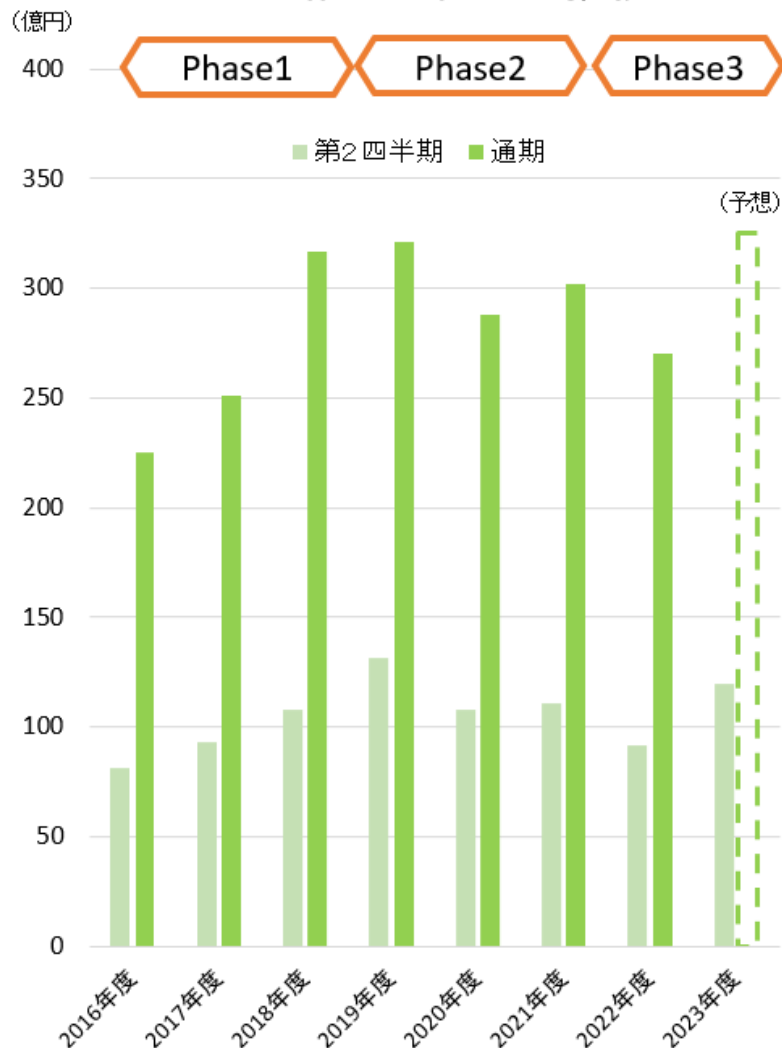


## 連結売上高推移

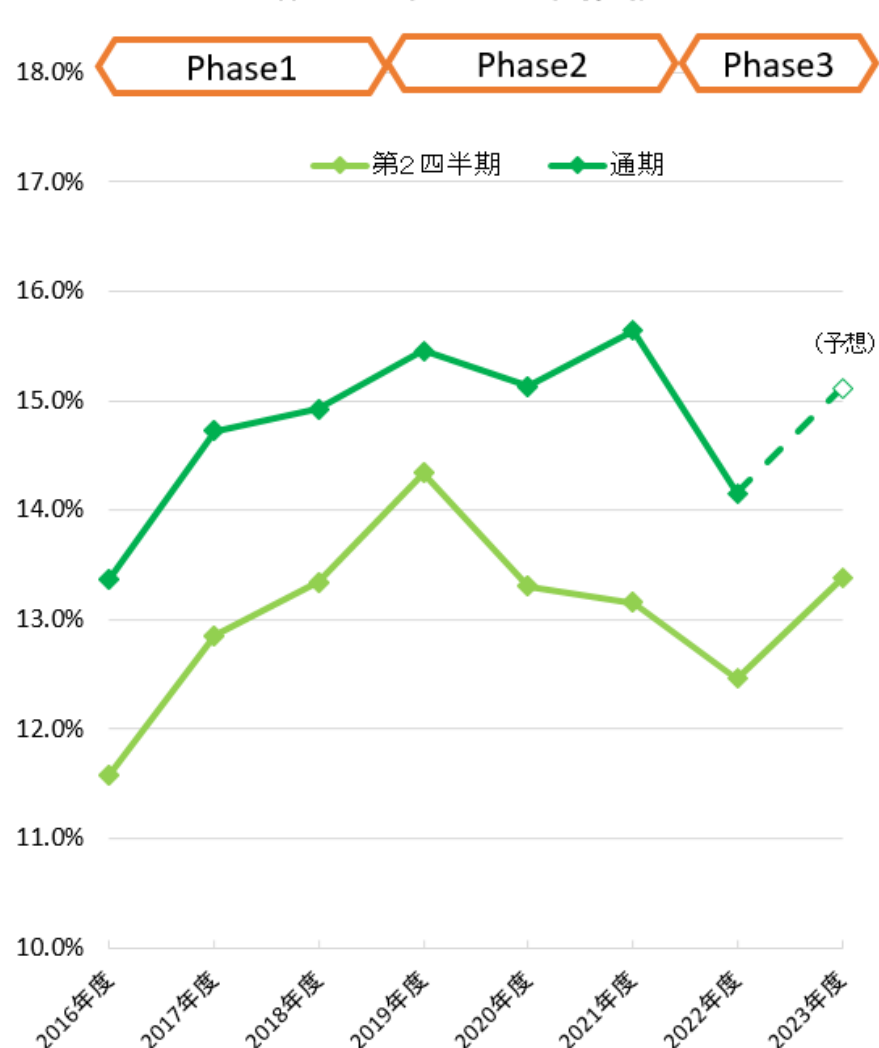


# 売上総利益・売上総利益率の推移

## 連結売上総利益推移



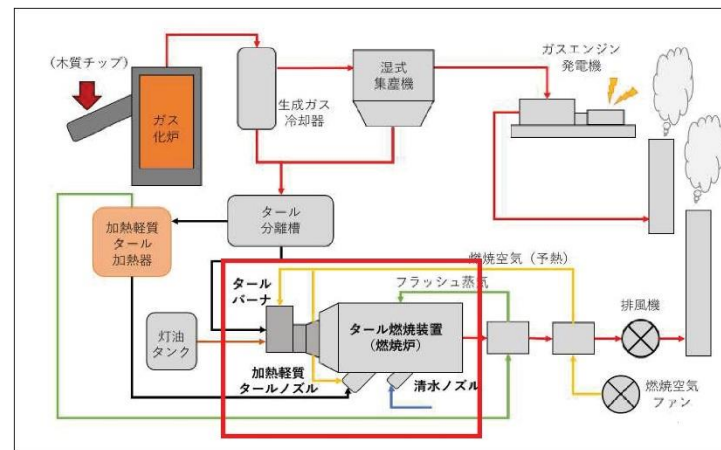
## 連結売上総利益率推移



## ◆ 技術開発

- 「タール燃料を利用した排ガス処理装置」で日本産業機械工業会長賞を受賞

本装置は木質バイオマス発電所のガス化炉で発生するガスから分離された有害成分を無害化する装置として日工株式会社と開発したもので、稼働中のNKCながいグリーンパワー（山形県長井市）の木質バイオマスガス化発電設備に導入されています。今回の受賞は、技術的優位性を証明し、安定的な事業運営を実現したことが改めて評価されたものです。今後も市場展開を図り、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



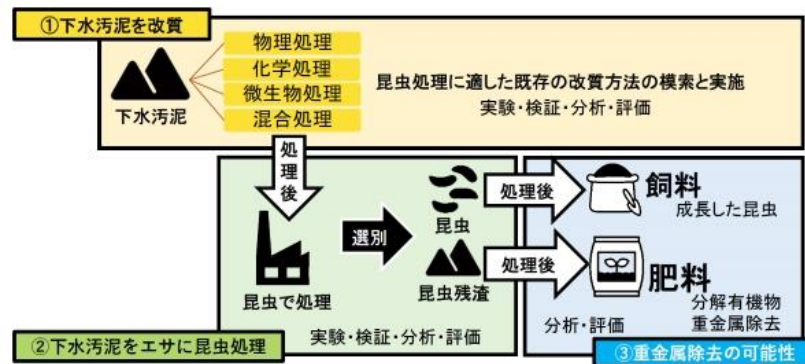
バイオマス発電フロー図

- 「昆虫を利用した下水汚泥の飼料化・肥料化研究」が国土交通省の下水道応用研究に採択

本研究は世界的な穀物需要の増加、エネルギー価格の上昇、世界情勢の変化等により飼料・肥料の価格が高騰している中、循環型資源としての下水汚泥を昆虫処理して飼料や肥料に活用しようとするものです。

実施にあたっては沖縄科学技術大学院大学および同大学発のスタートアップ企業であるBioAlchemy社との共同研究を行います。

今後も省エネルギー、創エネルギーおよびGXなど付加価値の高い技術を提供し、社会課題の解決に積極的に貢献してまいります。



技術提案イメージ図

## ◆ 技術開発

- 「連続滅菌装置及び連続滅菌方法」で  
中国経済産業局長賞を受賞

本装置は新光産業株式会社（山口県）と医療・医薬系廃水処理向けに共同開発したものです。

バイオ医薬品やワクチンなどを製造する工場等の廃水には細菌やウイルスなどが含まれている場合があります。無害化するためには加熱処理が必要となりますが、昨今のCO2削減ニーズにより、より一層の省エネルギー化が求められていました。

今回開発した装置は、熱回収ユニットにより加熱処理水から回収した熱で廃水を予熱することで、従来の連続式滅菌装置と比べ蒸気や冷却水の削減を可能にしています。



連続滅菌装置

## ◆ 建築設備事業・環境システム事業の事業基盤強化

- 大型都市開発案件や産業空調分野で将来のストック案件の蓄積
- 国内における半導体・EV電池製造施設向け産業空調分野の体制強化
- 上下水、廃棄物分野での大型物件受注によるLCE事業の推進

## ◆ DXの推進

- デジタル改革推進本部新設（2023年4月1日）
- 「SANKI DXビジョン」策定・公表



SANKI DXビジョン

## ◆ オープンイノベーションの推進

- R&Dセンターで大学や研究機関、スタートアップ等との連携強化
- ファシリティシステム事業・機械システム事業でスタートアップ連携



## ◆成長投資

- アクアコンサルトで工場増設投資。海外市場開拓でビジネス拡大
- 機械システム事業で大和プロダクトセンター内にクリーンルーム設置。クリーンルーム対応機器の開発・製造を強化
- ファシリティシステム事業部がオフィスを移転。新コンセプトに基づく新オフィスを利用した営業活動推進により業容拡大狙う

新コンセプト

もっと! 働来たくなるオフィス。

## ◆地球MIRAIプロジェクト

- グループ全社で100件を超える応募。応募者同士の交流会を4回開催。今後深掘りするテーマを設定し実現に向けた取組みへ
- R&Dセンターが新たに立ち上げた「望ましい未来のための技術戦略会議」と連携し、今後の技術開発の方向性や新規進出分野について足並みを揃えて取組みを推進

## ◆ サステナビリティ

- TCFDに準拠した開示をアップデート（1.5℃シナリオ対応）
- 三機テクノセンター、大和プロダクトセンターに太陽光発電PPA導入

- 旧ユニフォームをタオルにリサイクル

- 環境保全活動「三機の森」・「感謝の森」下草刈りイベント開催

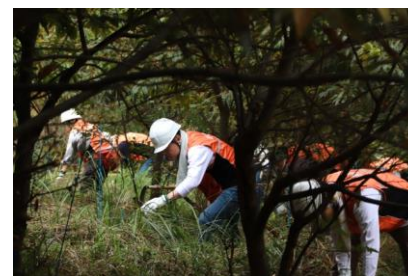
- 「健康優良法人2023（大規模法人部門）」に認定

- 南極地域観測隊に対する社員の派遣を継続

- BCMS

BCMSをグループ会社でも構築し、今年度からグループ全体で運用開始  
全社規模の大規模災害時訓練実施  
BCPが定める事象ごとの訓練を実施

旧ユニフォームを  
タオルへ



下草刈りの様子

健康優良法人認定



【注記】 TCFD(Task Force on Climate-related Disclosures)気候関連財務情報開示タスクフォース  
BCMS(Business Continuity Management System)事業継続マネジメントシステム

## 2050年の 姿

### 「選ばれ続ける三機へ！」

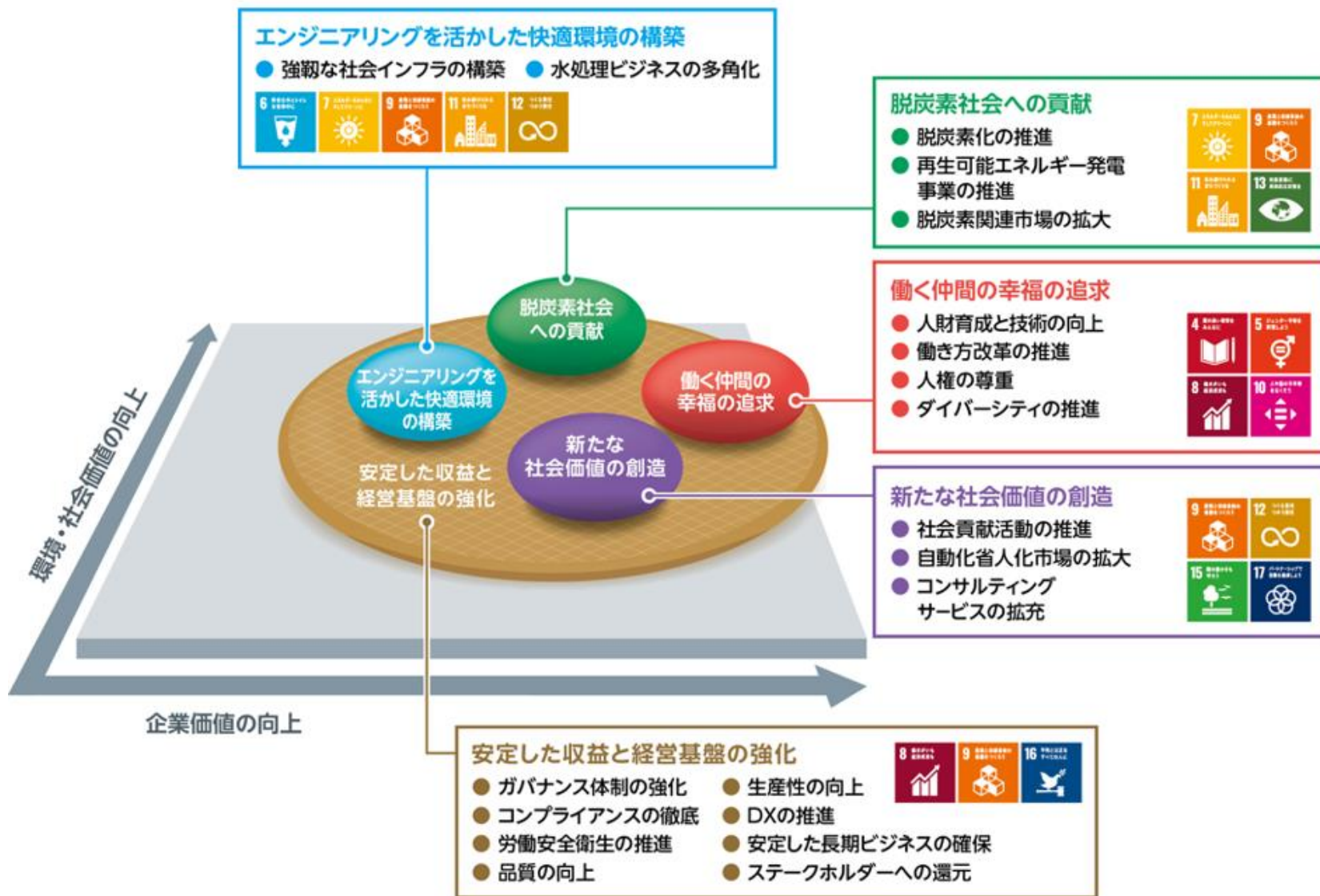
カーボンニュートラルなど、  
さまざまな社会課題に対して  
快適環境を創造するエンジニアリングで  
答えを出し、サステナブルな世界の  
実現に貢献する企業でありたい

- サステナビリティ経営の推進
- サステナビリティ方針の策定
- マテリアリティ(重要課題)の決定

「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し、広く社会の発展に貢献する」  
ことにより、強靱な経営基盤と  
持続可能な社会の実現を目指します

## SANKIカーボンニュートラル宣言

三機工業グループは、世界が直面する気候変動問題に真摯に取り組み、  
グループ自らの温室効果ガス排出量（Scope1,2）においては2030年までに、  
サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量（Scope1,2,3）においては  
2050年までにカーボンニュートラルを目指します。



# カイツキを サステナブルに。



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、11月10日時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります

本件に関する問い合わせ先

 **三機工業株式会社**

経営企画室広報・IR部

Tel : 03-6367-7041